

報道機関 各位

熊本大学

Kumadai-Hub が内閣府第2回総合知活用事例に  
選定されました

(概要説明)

内閣府が提唱する「総合知<sup>※1</sup>」の創造とその重要性は、多くの研究機関で認識されており、全国の大学で支援事業や交流会が行われています。しかし、地方の大学では、人員の都市部や大規模大学への流出が問題となり、現場レベルでの人材確保が難しいという課題があります。熊本大学のKumadai-Hubは、2019年に有志の若手研究者を中心に結成され、4年間にわたり、学内での異分野や異職種間の交流や共同研究、学外での県内外の大学や研究機関、企業とのネットワーキングや連携を模索してきました。

Kumadai-Hubは、地方の限られた人的資源を有効活用し、多様な参加者が協力できるステークホルダーの機能と連携基盤の開発に取り組んでおり、この度、内閣府の第2回総合知活用事例に選定されました。

(説明)

[背景] 科学技術イノベーション基本計画では、「融合」・「共創」・「総合知」などの言葉を通じて、既存の分野間あるいは組織・セクター間の交わりと連携が求められています。「総合知」の創造とその重要性は、多くの研究機関で認識されており、全国の大学で支援事業や交流会が行われています。しかし、各大学の実態や研究活動現場のニーズを考慮せずに異分野交流のスローガンを掲げ上位下達で事に取り組むことは必ずしも科学や学問の推進に結びつかない場合も少なくありません。さらに、異分野交流の手法は様々存在し、多様性を重んじるほど、より分野・作法・言語のちがいをといった“文化のちがいを克服していく議論が望まれます。

[内容] 熊本大学のKumadai-Hubは、2019年に有志の若手研究者を中心に結成され、これまで4年間にわたり、学内での異分野や異職種間の交流や共同研究、学外での県内外の大学や研究機関、企業とのネットワーキングや連携を模索してきました。熊本大学7学部から約140名の教職員・学生が参加。分野が細分化し、部局の壁が異分野の研究者とのコミュニケーションを困難としている現状に対し、①日常コミュニケーション、②定例ミーティング、③パブリックイベント、④情報発信、4つの活動を通じて、その障壁の解除を試みてきました。パブリックイベントを他研究機関や地域社会に開放し、これまでに19機関が参加した実績を有します。

参加実績:東北大学、東京工業大学、総合地球環境学研究所、京都大学、大阪

大学、香川大学、北九州市立大学、九州工業大学、九州大学、長崎大学、沖縄科学技術大学院大学、尚絅大学、熊本県立大学、他民間企業

Kumadai-Hubでは「ポスター展」という手法を用いて、多分野の教職員・学生・民間企業人等が意見を出し合い、それぞれの相互理解を促進してきました。



[写真1] パブリックイベント・Kumadai-Hub巡回ポスター展の様子



[写真2] 第3回Kumadai-Hub巡回ポスター展集合写真

Kumadai-Hubでは、開催ノウハウを他大学・研究機関の方たちと共有して交流会の企画に協力をしたり、メンバーで議論して定めたポスター様式をウェブ上に公開することにより、異分野交流の難しさや重要性について広く社会に共有してきました。今後は、より一層コミュニケーションに基づく学問への理解と普及に貢献が期待されます。

本取り組みは、公益財団法人日本科学協会笹川科学研究助成、熊本大学SDGsユースプロジェクトの助成を受けて実施しています。

[用語解説]

※1総合知:多様な「知」が集い、新たな価値を創出する「知の活力」を生むこと。(内閣府「総合知」ポータルサイトより)

(関連情報)

内閣府「総合知」ポータルサイト URL:

[https://www8.cao.go.jp/cstp/sogochi/jirei\\_2kai.html](https://www8.cao.go.jp/cstp/sogochi/jirei_2kai.html)

Kumadai-Hub ウェブサイト URL:

<https://sites.google.com/cs.kumamoto-u.ac.jp/kumadai-hub-jp/>

**【お問い合わせ先】**

熊本大学国際先端医学研究機構 (IRCMS)

担当: 渡辺

電話: 096-373-6847

e-mail: ircms@jimu.kumamoto-u.ac.jp